

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:

事業所名 チャイルドサポートうらそえ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	1	活動のスペースが十分に確保出来ている。	
	2	職員の配置数は適切である	8	1	基準以上の人数を配置している。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9		絵カードや写真などから用いて視覚から見て分かりやすいように工夫している。	活動のスペースは段差があるので改善が必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8	1	毎日の掃除、週に1回定期的に消毒を行っている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	1	毎朝全体のMTGを行い、午後は午前中の振り返りを行っている。	その都度、話し合いをして情報共有しているが声掛けの確認が目標になっている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	5		まだ1年に満たないのでこれから行っていく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	1	8		今後は行っていく。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		8	未記入1	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9		オンラインやzoomを利用して研修を実地している。	参加日程が少ないので定期的に研修の日程を確認しながら参加出来るようにする。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9		利用児の発達状態を確認しながら保護者の同意を確認して作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	2	未記入1	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	1	未記入1	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	9		毎月活動の内容を考えてプログラムを考えている。	子供たちの発達に沿ってプログラムを立てるようにする。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	1	未記入1 毎週同じ活動でも内容を考えて工夫している。	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7	1	未記入1 集団、個別と利用児に合わせて活動を支援している。	集団は出来ていても、個別では日によってできたり、できなかったりがあるので継続してできるようにしていく。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9		朝のMTGで活動の内容を確認して行動予定表で全体の役割は周知している。	振り返りが細かく出来るように時間を作って行っていく。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	2	未記入1 出勤時間や送迎時間で全体での打ち合わせが難しいのでその日の確認事項はノートに記入している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	1	毎日の出来事を支援記録や連絡帳を記入して保護者との共有も行っている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	9		定期的にはではないが新しく計画を立てる時には行っている。	毎月は出来なくても、二か月に一回は見直しを行って行く。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8		未記入1 モニタリングや会議には参加して現状を報告している。	毎回同じ担当ではなくて、携わっているスタッフにも交代で行けるように進めていく。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	2	未記入1 役所や他事業所などを交えての会議も行っている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5	2	未記入1	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4	3	未記入1	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	3	未記入1 送迎時に行く時には情報の共有は行っている。	会議を持つての情報共有は出来ていないので合間を見て行えるようにしていきたい。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	4	未記入1 気になる行動や質問時には送迎の時には確認出来ている。	詳しくまでは聞く事は出来ていないので、確認事項や情報を共有したい時には会議をもって話ができるようにして行きたい。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	4	未記入1	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	7	少しの時間だけ活動の中で一緒に過ごす事は出来ている。	計画を立てて交流が出来るように地域の保育園に声をかけて楽しめる機会を作る。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		8	未記入1	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9		連絡帳に一日の出来事を記入したり、送迎時に状況を伝えている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	7	1	未記入1 送迎時に会話はするが適しているのかがわからない。	保護者にも研修を伝えながら一緒に学べるような環境を作っていく。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8		未記入1 契約の時に話している。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	1	未記入1	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	1	未記入1 相談があるとその都度、電話や送迎時に話をしている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		8	未記入1	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	1	未記入1 その都度、電話や送迎の時に対応している。	気楽に相談が出来る環境を整えて行くように行っていく。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	1	月の活動を配布したり、年間での保健だよりを配布している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	9			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	1	未記入1	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		8	未記入1	時期を見ながら年に一度は招待を出来るように計画を立てていきたい。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	4	未記入1 スタッフの間ではマニュアルは出来ていても、保護者にはまだ出来ていない。	訓練を行うと共に保護者には一斉メールが出来るようにして行く。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9		月に1回は実地している。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	1	未記入1	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	6	未記入1	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	1	ヒヤリが起こった時には口頭での共有と報告書での共有を徹底している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	1	未記入1 研修を受けて共有までは出来た。	研修が足りない部分があるので研修がある時には随時受けるようにする。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		8	未記入1	今後の為にも研修を受けるようにする。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:

事業所名 チャイルドサポートうらそえ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	1			
	2	職員の配置数は適切である	6			子どもの人数を確認しながらスタッフの配置を決めている。	子供が慣れるまでは個別での対応をするが、慣れた時には小集団に出来るようにする。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	4	1		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	2	2		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	2	1		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	2	2	未記入1	8月のオープンでアンケートを今回出したので今後は公開して知らせていきたい。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2	1	未記入1	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7				
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	1			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			子ども達の意見も取り入れながらプログラムを作っている。	色々な事ができるようになってきたので今までできなかった事を増やしながらか定着できるようなプログラムを作ろうとする。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	1	1		子供たちが決めてしまっているプログラムなので固定化してしまっているのを毎月一つプラスをして固定化しないように改善していく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	2		学校からの宿題は毎日行っている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	1	1		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			毎朝MTGをして子どもの担当を決めて支援ができるようにしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1	2	パートさんがいるのでその日の振り返りはできず翌日のMTGで行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			一日の支援記録を記入している。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6		1	毎月ではないけれど行っている。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4	1	2			

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			サビ官が参加をしている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	1		お迎えに行った際に職員と一日の出来事を確認している。	学校との情報共有をもっと密に行って行けるようにしていく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	2	1	未記入1	医療児ケアの子供がいないので今後受け入れて行くためには連絡が出来るような体制を整えていくようにする。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	2		モニタリングをしながら共有はできている。	今後は児発官だけではなく、関わっているスタッフも参加出来るように行って行く。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	4	1	未記入1	利用している児童に障害福祉サービス事業所へ移行する児童はまだいない。今後は行って行く。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	2		モニタリングをしながら共有はできている。	現状ではまだないが今後活動する予定を組んでいる。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	1	4		今は行う事は出来ないが、コロナが落ち着いた頃には計画を立てて行って行く。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	2	4		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			送迎時に一日の出来事を話している。	「はい」ではあるが不十分。もっと保護者の悩みや考えを聞く等、話をする時間も増やしていきたい。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		6	1		今はスタッフがペアレント・トレーニングの研修を行っているので、理解をした時には支援が出来るように行って行く。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	1			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	1			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		3	4		保護者会を開催する機会がないが今後は発足は必要である。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			送迎の時に相談されたらその都度対応をしたり、事業所に持ち帰って後で伝えたりしている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	2		ブログで活動内容を発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	7				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	2			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4	2		
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	1	1	8月オープンなので行う事は出来ていない。	長期休み時に全体で出来るように計画を立てて避難訓練を実地していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	1	1		子ども達を交えては行えていない。今後は行えるようにして行く。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	2		強度行動障害の研修には数名のスタッフは参加できた。	一回だけの全体の周知だったので年に2.3回に分けて出来るように計画を立てて行えるようにする。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5		2		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7				
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			事故報告や、ヒヤリハットを記入して話し合いをしている。	

